

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会 長 武末喜久治

副会長 藤本 範行

幹 事 青木 善明

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1876 回 平成 27 年 3 月 26 日プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 観桜会 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 田中 俊實

中部分区ガバナー補佐 押川 弘巳

RI テーマ・第 2730 地区テーマ

『ロータリーに輝きを』

高鍋ロータリークラブテーマ

『クラブの活性化』

3月の月間テーマ

識字率向上月間

本日の例会案内

*夜間例会 (場所; 藤原牧場)

*観桜会~親睦活動委員会担当

次週例会案内 4月2日 (1877回)

*月初めのセレモニー *米山ランチ

*雑誌月間卓話 *終了後理事会開催

第 1875 回 例会内容

■会長の時間

会長 武末喜久治君

先週の土曜日は、シーガイアコンベンションホールで宮崎県IM(都市連合会)が開催されました。2012-2013年度国際ロータリー会長の田中作次氏を講師にお迎えし、また2730地区の田中ガバナーや鹿児島県のクラブからの参加者もあり地区大会を思わせるような、今までにない盛大なIMでした。終了後は懇親会があり、懇親会からは宮崎県知事が参加されました。夜7時に終了しましたが、参加していただいた皆さん大変お疲れ様でした。本日は出席していただいた中から報告をしていただきます。



私は、田中作次パスト会長は存じ上げませんでしたが、前日の夜に歓迎会がありまして、名刺交の折りに話をさせていただきましたが、実に気さくで陽気な人でした。

田中作次さんの人生を本にした「日本一の紙問屋を作りあげた田中作次のチャレンジ人生」(宮下正房さん)の中から、田中作次さんの人となりを紹介させていただきます。

田中作次さん、旧姓阿部作次氏は昭和14年2月4日新潟県栃尾市で8人兄弟の3男として生まれました。

生家は農業で耕地はさほど大きくなく子だくさんのた

め生活は楽ではなかったそうです。3男の作次氏は小学校入学前から父の手助けをし、就学してからは、登校前や下校してからも、田畑の仕事を手伝ったそうです。母は竹細工のかごやざるの他ぜんまいや、ちまきに使う笹の葉やひもなどを売り歩き、時には長岡市などで露店を開きお客さんの呼び込みも行いました。後に田中作次氏は、「商人、実業人としてのあるべき基本姿勢や考え方を母の行商から学んだ感化が一番大きかった」と語っています。商人のルーツは行商であって、行商も店売りも成功するための最大の条件は誠実さであり信用のおける商品、生活者が求める商品を届けることの基本姿勢を知らず知らず、母から学び後に実業家田中作次の原点となったようです。田中作次氏が学んだ小学校は、150人位の山の中の分校で氏は常に成績トップで4年生で級長、卒業時には答辞を読んだそうです。中学校でもトップクラスで3年の時に生徒会長に選ばれています。高校は家庭の事情で進学できず担任が東京に出て働きながら定時制高校へいくことを勧めてくれて、昭和28年3月同級生4人と一緒に東京へ集団就職することになりました。もともと向学心があり就職はその為の手段でした。就職先は中堅のコップ專業メーカーで見習いとして入社した作次は、雑用が主で、午後5時に終業となると隅田川高校の定時制に通いましたが、しばらくすると残業を要求されるようになり次第に遅刻が増えてきて、1年後に勉学と仕事の両立ができる職場に転職します。その転職先が生涯を決定づける事になる、合資会社田中紙店です。合資

会社といっても店主の田中栄二氏の他は奥さんと女中 1 人だけのまだ創業 30 年の零細個人商店でした。店舗は浅草にあり当時浅草には紙、文房具店が集まっており、田中商店も紙問屋を中心に小売も行っていました。昭和初期の世界大不況や戦時の経済統制、東京大空襲などの苦難を乗り越えてきた店主田中栄二氏の住み込み店員作次氏への仕事上の要求は厳しく、午前中は新規開拓、午後は配達という問屋活動で、20 キロ圏内の日用雑貨店、タバコ屋、薬局を片っ端から訪問し午後にはリヤカーで配達 朝は説教日中は問屋活動、夜は高校通いで、耐えられない程の辛い体験で、お暇をいただきたいと申し出たことが何回もあったそうです。そうするうちに次々得意先を増やしやがて中古トラックを買ってもらおうとトラックに商品がいっぱいになるよう商売にさらに精をだし益々多忙になったが、高校は休まず通いました。こうした作次氏の忍耐力、誠実に努力する人間性を店主の栄二氏は内心高く評価しており結果として作次氏は養子に迎えられました。新潟の片田舎から集団就職で東京に出てきて、定時制高校しか出ていない少年が、一介の文具店に就職しその店を家庭専門卸売業界で日本一の売上高を誇る企業に育てあげ、その過程で、埼玉県八潮ロータリークラブに参加し、41 歳の若さで会長に指名され、そこで培った社会奉仕の精神と本来の持ち味のチャレンジ精神が合体し、国際ロータリークラブの会長に登りつめたかは、この本に書かれておりますので、ぜひご一読をお勧めします。

ロータリーに入らなかつたら、私の職業に対する考え方は大きく違っていたと思います。ロータリーから学んだ事が私の行動の 70% だと語っておられます。趣味はロータリー、仕事はロータリーと言われました。このロータリー大好きな田中作次氏の爪のあかを煎じて飲みたいと思ったのは私だけではないと思います。

今回の IM は私にとって素晴らしい IM でした。報告と田中作次氏の前半をお話させていただきました。

■幹事報告<文書案内>

- * 4 月のロータリーレート
1 ドル=118 円
- * RI より国際大会委任状の件
- * 宮崎南ロータリークラブより
創立 40 周年のお礼状

副会長 藤本範行君



☆IM報告

日高 茂君

IMには毎年出席していますが、今年はメインイベントが田中前RI会長とコーディネーター中村さんの名コンビで素晴らしく2時間を有意義にかつ楽しく持ちました。話しの中で「目標を立てそれに向かって努力すること、達成したら次のステップに進む事」が有りました。

これは会社の中ではごく通常の事ですが、お二人の進め方のテンポが良く話に引き込まれてしまいました。

内容的にはクラブ運営に関するもので今後の参考とするものが多々ありました。私の心に残った何かについて意見を添えて紹介します。



田中前RI会長から「魅力あるクラブとは喜びのある例会にすること」が有りました。これはクラブの永遠の命題とも言えるので「喜びのある例会とは何か」の定義を掘り下げて頂くと有り難かったです。この解決策として毎週プログラム委員会を開催、例会を昼時間でなく朝や夜の開催、例会後の勉強会、年会費の削減、月1回のゴミ拾い例会などの提起もありましたが、この何れかを実行するにしてもハードルが高すぎる事案でしょうが、現状に立ち止まらない例会にするには委員会を設ける等は検討に値すると考えます。また新入会員に対しては紹介者+1名で3年位お世話をしながら早めに責任あるポジションについてもらう様にしては如何ですかについては、クラブが高齢化していることもあり活性化やクラブ運営の刷新が期待できると思います。このことはもろ手を上げて賛成です。Eクラブについては拡大の方向でありましたが、Eクラブで例会出席と見なすにはメーキャップ費用を口座振替で払って、パソコンから意見を書き込むことが必要条件となりましょう。これに比べ当クラブでは多数の会員と直接顔を合わせて会話が出来ること、例会前後の時間で意見交換の場が持てること、またパソコンで記録に残る意見などを書き込む必要が無いことがあります。にもかかわらずEクラブ拡大の方向のねらいは現クラブ運営に柔軟性を持たせることや会員拡大に取り組む必要を示唆されたと考えます。

■BOX披露 親睦活動委員長 坂田師通君 <ニコニコ・財団・米山BOX>

- 橋口清和君 IMドタキャン申し訳ございませんでした。行きたかったのですが、河原君が私の代わりに美味しいディナーを食べられたようです。
- 坂田師通君 森本君の長男の合格を祝して。来週の観桜会宜しく願います。
- 森本直樹君 お蔭さまで息子がお金のかからない進路に進んでくれました。まだ先は長いですが。
- 野田俊一君 川内原子力発電所1号機の新規制基準に係る工事計画認可をいただきました。再稼働に向けて一歩踏み出しました。

■出席報告 出席委員長 長野孝吉君 出席状況 (3/19)

会 員 数	47 名
出席 会 員 数	40 名
ホー ム 出席率	85. 11%
前々回修正出席率	80. 85%